# サステナビリティ方針(5つの重要課題)

当社グループは、食品とそれに関連するサービスを提供する企業グループとして の責任を自覚し、食を通して「社員・従業員」「お客様」「取引先様」「株主様」そし て「地域社会」の 5 人のステークホルダーを豊かにする企業活動を実践し、"持続 可能な社会の実現"と"事業の安定的な成長"を目指すためサステナビリティ方 針を掲げています。サステナビリティ方針の具体化を目指し、長期的な目標として 次の内容を掲げその達成を目指します。

## サステナビリティ方針/重要課題

私たちは食品を扱う企業グループとして、美味し くて、安心して食べられる安全な食品の提供が基 本だと考えています。私たちは、お客様や取引先 様に提供する食品の安全と食品事故の防止に努 めます。お客様や取引先様に満足いただける美味 しくて安全な食品やサービスを提供することで持 続可能で豊かな食生活に貢献します。

持続可能な経営の継続

美味しくて、

安心・安全な食の提供

私たちは「企業は天下の公器である」と考えています。適時 適切に情報を発信し、ステークホルダーとの対話を大切に し、経営の透明性を高めていきます。公正な取引やそれを 支える企業統治の充実とともに、グループで働くひとり一 人が公正な職場と健全な取引関係を築きあげ、ステークホ ルダーから支持される企業活動を通じて事業の安定的な 成長を継続します。

個性の尊重と能力を 発揮できる組織の構築

> 私たちは「企業は人である」と考えていま す。そのための基本である従業員の健康に 配慮します。私たちの企業グループで働く ことでひとり一人が成長し、その結果、会社 も成長する教育を実施します。また、性別や 国籍などで差をつけることなくそれぞれの 人権を尊重し、個性を認め、持てる能力を 存分に発揮できる組織作りを継続します。

未来へ繋げるための 環境対策の取り組

私たちは未来の地球環境を今以上に良いも のにしていきたいと考えています。食品を 扱う企業として食品ロス削減による二酸化 炭素排出抑制など気候変動緩和活動や環 境保全活動を継続していきます。また、日常 生活の中でも環境活動を推進できるよう従 業員教育を継続します。



私たちは地域・社会と共に成長していきたいと考 えています。持続可能な地域の発展は、私たちの 事業の基盤です。地域との様々な交流を通して地 域・社会の発展に貢献します。また、私たちが扱 う食品などを提供してくれる産地や生産者も意識 し、共に成長できる活動を実践します。

トーホーグループのサステナビリティ

## 5つの重要課題の主な取り組み

トーホーグループでは、サステナビリティ方針のもとサステナビリティ経営を推進するため、5 つの重要課題(マテリアリティ)を掲げ、重要テーマに取り組んでいます。



グループに起因する食品事故ゼロ

食品を扱う企業グループの基本である、美味しくて、安心・ 安全な食品をお届けすることを更に強化していきます。

#### サステナブルフード開発強化

持続可能な社会の実現に貢献すべく、サステナブルフードの 取り扱いに力を入れていきます。



ガバナンスの更なる強化

当社グループは「企業は天下の公器である」という考えのもと、コーポレート・ガバナンス体制の更なる充実を図っていきます。

持続可能な経営の継続



未来へ繋げるための 環境対策の取り組み

#### 温室効果ガスの削減

2050 年のカーボンニュートラル実現に向け、温室効果ガス 排出量を 2030 年度までに基準年 2013 年度比で 46 %削減 を目指します。※国内グループ会社



個性の尊重と能力を発 揮できる組織の構築

働きがいや誇りの醸成、従業員エンゲージメント向上 従業員が健康で活力に満ち、最高のパフォーマンスを持続で きる労働環境の整備に取り組む「健康経営」の推進を最重要 テーマと位置づけ、健康経営のもとで人材育成に取り組んで います。



地域社会発展への貢献

#### 食を通して豊かな地域づくりに貢献する活動の継続

当社グループは地域社会と共に成長していきたいと考え、食 を通して豊かな地域づくりに貢献する活動を継続していきま す。また、取扱商品を提供してくれる産地や生産者も意識し、 共に成長できる活動を強化していきます。

## 重要課題の特定プロセス

サステナビリティ方針項目ごとに課題を洗い出し、重要課題を決定しています。

STEP 01

#### 課題の洗い出し

国際規格や SDGsなどから課題の洗い出しを実施

STEP 02

ステークホルダー毎に課題を整理

洗い出した課題をステークホルダー毎に整理

STEP 03 主要グループ会社での重要性の評価

会社毎に課題の重要性を評価

STEP ()4

外部有識者及び サステナビリティ 委員会の意見を反映

STEP 05

重要課題の特定

取締役会で審議の上、重要課題を特定

STEP 06

中期経営計画の 策定とあわせ、 重要課題を確定

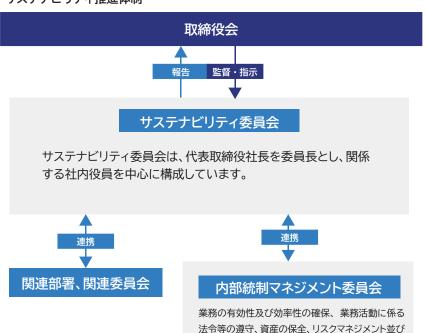
## 推進体制

トーホーグループのサステナビリティ

トーホーグループでは、経営理念である「食を通して社会に貢献する」ことを継続実施し、より一層社会から信頼され、必要とされる企業グループを目指し、中長期的な企業価値の向上につなげていくことを目的に、「サステナビリティ委員会」を設置しています。サステナビリティ委員会は代表取締役社長を委員長とし、取締役及び常勤監査役を委員として構成しています。サステナビリティ方針に基づいた経営を実践するための方策や重要課題の特定、取り組みの推進やモニタリングを行い、定期的に取締役会に報告・提言を行っています。

サステナビリティ方針の具体化を目指し、長期的な目標として次の内容を掲げその達成を 目指します。

#### サステナビリティ推進体制



として設置。

に財務諸表等の信頼性の確保に資することを目的

## サステナビリティ経営の浸透

#### 「トーホーグループ サステナウィーク2024」を実施

当社グループ内でのサステナビリティへの理解 を深めるとともに、お客様にも当社グループの サステナビリティへの取り組みを知っていただく ことを目的に、グループ初の取り組みとなる 「トーホーグループ サステナウィーク 2024」を 実施いたしました。実施期間中(2024年10月 28 日~ 11 月 4 日)、㈱トーホーフードサービ スでは当社グループが取り扱うサステナブル フードをまとめたチラシを配布、㈱トーホー キャッシュアンドキャリーでは専用陳列コーナー を設置してお客様への認知度向上を図ったほ か、グループ各社のコーポレートサイトや SNS も活用して情報発信を行いました。さらに、社内 においても本社食堂でサステナブルフードを使 用した限定イベントメニューの提供やフードドラ イブを実施するなど、サステナビリティへの意識 の向上を図りました。

中期経営計画では、重点施策の一つに「サステナ ビリティ経営の推進」を掲げており、今後も持続 可能な社会の実現と事業の安定的な成長を目指 してます。





▲㈱トーホー・北関東の展示商談会では、特設ブースを設置し、お客様にサステナブルフードを案内しました。

#### 社員・従業員向けの教育を実施し、 サステナビリティ経営の浸透を図りました

国内全社員・従業員を対象に当社グループが目指すサステナビリティ経営について、中期経営計画の取り組みと併せて理解を深める教育月間を 2024 年9月に実施しました。また、2024年10月に開催したサステナウィーク期間中は、環境や社会に配慮したプライベートブランド品について知識を深める教育月間を実施しました。

トーホーグループとは
社長メッセージ
価値創造
中期経営計画
サステナビリティ

## 人権方針と調達方針を制定しました

#### 人権方針

トーホーグループのサステナビリティ

当社グループでは、事業活動を通じて"持続可能な社会の実現"や"事業の安定的な成長"の両面を実現していくことを目指し、2019年7月に「トーホーグループ サステナビリティ方針」を制定しました。サステナビリティ方針は「5つの重要課題(マテリアリティ)」として、それぞれ2030年までに実現すべき目標を定め、具体的な取り組みを進めています。その中の1つ「個性の尊重と能力を発揮できる組織の構築」では、「企業は人である」という当社グループの基本的な考えのもと、社員・従業員の健康への配慮や成長のための教育の実施、また性別や国籍などで差をつけることなく、それぞれの人権を尊重し、個性を認め、持てる能力を存分に発揮できる組織作りを継続していくことを内容としています。一方で当社グループは、事業活動のあらゆる場面で人権に影響を及ぼす可能性があることも認識しており、サステナビリティ方針に基づく人権尊重への取り組みを一層強化していくため、2025年2月に「人権方針」を制定しました。

https://www.to-ho.co.jp/sustainability/policy.html#sec02

### 調達方針

当社グループでは、経営理念である「食を通して社会に貢献する」のもと、美味しさ、そして安心・安全、健康、環境、人権に配慮した経営を進めていますが、こうした考えをサプライチェーンに係る取引関係者の皆様とも共有し、環境や人権などに配慮した責任ある調達活動を行うことで共に持続的な繁栄を実現することを目指して、2025年2月「人権方針」とあわせて「調達方針」を制定しました。

https://www.to-ho.co.jp/sustainability/policy.html#sec03

#### 人権への影響評価

当社グループの事業活動が人権に影響を及ぼす可能性のあることを認識し、人権への負の 影響を特定し、その影響の軽減・是正に努めるため、今後リスク評価の実施やお取引先様向 けのアンケートなどでサプライチェーン上の当社グループにとっての顕著な人権課題の洗い 出しを行なう予定です。また、リスクが顕在化した際は、適切に対処します。

#### 社内環境整備の取り組み

さまざまな社内環境・制度の整備を実施し、働きやすい職場環境作りを行い、社内の人権 リスクを低減する取り組みを行っています。

ダイバーシティに対する考え方	
https://www.to-ho.co.jp/sustainability/staff.html#sec03	
労働安全衛生の向上	
https://www.to-ho.co.jp/sustainability/staff.html#sec05	
健康経営	
https://www.to-ho.co.jp/sustainability/staff.html#sec04	
企業倫理・コンプライアンス推進活動	<b>助 🍪</b> P44 をご確認ください。
https://www.to-ho.co.jp/sustainability/compliance.html#sec03	
個人情報保護方針、情報セキュリティ基本方針	
https://www.to-ho.co.ip/policy.htr	ml